作文が苦手な人の「なんとかしよう」の方法

① 正しい手順を使う。

一行目　タイトル
二行目　名前
三行目　空白

作文が苦手です

森沢　けん

（3行目は空白）

4行目から書き始めると言うだけで気持ちが楽になります。

4行目からと思えば
少しは気持ちも楽ちん！

② いつ、とこに、だれと、何をしに行った？　という基本的な情報。
天気が良かったとか、適当に書くことがあるでしょう、多分。

③ 説明文を入れる。

例えば、
出かけた先のパンフレットから抜き取る。
【〇〇（地名）にある大きな公園です。】
とか
虫を捕まえにいったら、その虫のことを
【ツノがあるのでオスのカブトムシです。】
とか、当たり前のことでもいいので書く。
いつ作られたものとか、広さとか得られる情報がある。

コウチュウ目（鞘翅目）・コガネムシ科・カブトムシ亜科・真性カブトムシ族のこん虫で

富士山こどもの国は、敷地九四・五ヘクタールの公園で富士サファリパークの会社が運営しています。

カタカナ言葉は
文字数多い！

分類を書くだけで2行
かせぐことができる！

★この程度空白だらけの文でも原稿用紙の20行を超えていることに注目。

④ 会話文を入れる。

【「ハイ。」】
【と答えました。】
とか、これで、段落かえると、二行とれる。

「行くよ。」
と言われて、僕は、
「ハイ。」
と答えました。

下半分空白

⑤ 「思ったこと。」は一文感想でいいのでは？

例えば、
【楽しい一日でした。】
【もう一度行きたいと思いました。】
というような表現で終われば、「らしく」なるのではないでしょうか。

15 楽しい一日で、もう一度行きたいと思いま
16 した。
17
18
19
20

16行クリア！
残りは空白でOK

⑥ 最後に、原稿用紙の8割を書くという約束です。二十行あれば、十六行までは書くことになります。

最後の十六行めは、
【た。】
だけでも一行として終了です。

内容はともかく、
四〇〇字詰め原稿用紙なんて
怖くない！

「思ったことを書いてごらん」
と、言われても、こんな状態で、
全く書けませんでした。

第2版　2015.06　森沢